

現在、市内にある約800箇所の案内看板等を見直し、子供からお年寄りの方々まで、1つのテーマで統一した、よりわかりやすい案内看板を設置いたします。

その結果、お客様に楽しんでいただながら導線をつくり出し、市内各地域の滞留時間の延長をもたらすことによりまして、市内消費効果の拡大を含めます、近年の観光ニーズに対応した多面的な可能性が拡大するものと考えております。

新年度は、これらの観光主要事業を中心に、新たに総合観光振興計画を策定いたしましたので、より一層の賑わいの創出を図ってまいりますので、今後の観光事業の展開を期待していただきたいと思います。

三. 産業の振興

地域産業の活性化、新産業の創出

3番目の基本方針であります「産業の振興」でございますが、世界的に景気回復の兆しが見えない混沌とした社会情勢が続いている中、雇用を生み、地域経済活性化に導くことは容易ではないものと認識しております。

しかしながら、新年度には産業振興条例制定を目的とした産業振興推進審議会を設置し、産・学・官協働

筍水煮工場本格稼働



による地域産業振興対策に取り組み、低迷する社会情勢に果敢に挑戦することといたします。

具体的には、農林業施策として、農業生産振興に向けた事業の推進、林業基盤の整備、担い手の育成及び支援を行ってまいります。また、地域の宝である人材の育成事業の強化、市内の雇用拡大に努め、本市の特色を活かした観光施策と連携した地場産業の育成にも取り組みたいと考えております。

そのような考え方のもと、本市独自で制度化し、新年度より本格導入いたしますのが「地域発信チャレンジ

「ジ推進事業」でございます。

本事業は、効果的かつ独創的な美祢市の発信と認められる事業を企画・運営する団体に対する補助を行う制度であり、市産業活性化に向け各種団体の皆様方からの柔軟な発想を期待するものであります。

また、景気対策事業として地域の消費拡大を図るため、本市独自の取り組みの「地域経済振興事業」として、商工会が事業主体となります商品券発行事業を行うこととしております。

四. ひとの育成

教育環境の充実、歴史・文化の継承、人材の育成

続きまして、4番目の「ひとの育成」についてであります。

少子化、高齢化、人口減少が進むなかで、地域を支える担い手が不足しております。

このようなか、教育施設の耐震化事業などの次世代を育む教育環境の充実や、地域活動を支える担い手の育成は、本市にとりまして喫緊の課題であるといっても過言ではなく、これらの対策につきましても、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

また、人権啓発手法のさらなる創意工夫をし、このたび策定いたしま



ファミリーサポートセンターみね開所

した「美祢市男女共同参画しあわせプラン」に基づく男女共同参画社会の実現を目指した施策にも取り組んでまいります。

とりわけ、仕事と育児を両立し、安心して働くことができる環境整備を図り、地域の子育て支援を目的とした「ファミリーサポート運営事業」は、私の主要施策のひとつでありましたが、平成21年度に具現化することができました。従いまして、本事業を、市民の皆様方にとって、さらに利用しやすい制度へのステップアップを図りながら、引き続き安定的なサービスを提供することといた

したいと考えております。

五. 行財政運営の強化

行財政の効率化、協働のまちづくり

最後になりますが、5番目の基本方針といたしまして「行財政運営の強化」と位置付けており、まちづくりを進める上での重要な基盤であると認識をいたしております。

力を入れて解決すべき課題への効果的な投資や効率化を進めるなど、メリハリがあり、なおかつ経営感覚をもった舵取りが必要であり、今月完成いたしました、美祢市行政改革大綱、集中改革プランの実践、また、平成22年度導入を予定しております行政評価制度により、さらに高次元の選択と集中によるスクラップアンドビルドを徹底的に推進してまいります。

すなわち、限られた財源の中できめ細かで質の高い行政サービスを常に心がけ、市民と行政が協働でまちづくりを行うシステムを構築し、未来に向かって開かれた行財政運営を行ってまいります。

新年度には、私自身が市民の皆様と将来のまちづくりについて直接対話する「市長と語るまちづくり座談会」を実施し、各地域にお邪魔をさせていただきます。その節には、どうぞよろしくお願いいたします。

また、「ふるさと創生未来交付金事業」と称し、美祢市創生に向け、美祢、美東、秋芳、3つの地域の均衡ある発展に資するため、各地域の独創的な取り組みに対する交付金制度を開始いたします。

合併を成し遂げた本市の、さらなる一体感醸成のため、どのような地域振興策が各地域、市民より発案されるのか、非常に期待をしている事業のひとつであります。

以上、市民の皆様から負託を受け、市長という大役を担わせていただき3年目を迎えます、私の所信と主要施策の概要について申し上げます。

地方分権社会の進展により、より一層の自主性が自治体に求められており、平成21年度は国政において、政権交代なる激震が走った歴史的な年でもありました。

そのような社会情勢においても、政権交代に左右されない不変の行政基盤を築き、市民生活に揺るぎない安心感をもたらすことができるよう、私の政策の柱であります、「市民が夢・希望・誇りをもって暮らす交流拠点都市 美祢市」を念頭に置いた諸施策を展開してまいります。

今後とも、市民の皆様をはじめ、議員の皆様のお一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げ、施政方針といたします。